



# 第32回上田八木・金融政策サーベイ(2019年12月)の結果について

～全回答者(158先)の99%が今回のMPMでの政策変更なしとの見方、前々回より引き続き「緩和」の見方が減少。金利予想では、ON金利や2年利付国債において「低下」と見る先が減少した。

2019年12月17日(火)  
上田八木短資株式会社

## 【調査の総括】

- 全回答者(158先)の99%が今回のMPMでの政策変更なしとの見方。なお、緩和の見方はごくわずか(1%)と、2019年4月以前の水準に回帰した。
- 3か月先の金利予想については、ON金利で前回対比「低下」の見方が減少(17%→6%)、2年、10年利付国債では前回同様、不変の見方が約8割と大宗を占めた。

## 【調査の概要】

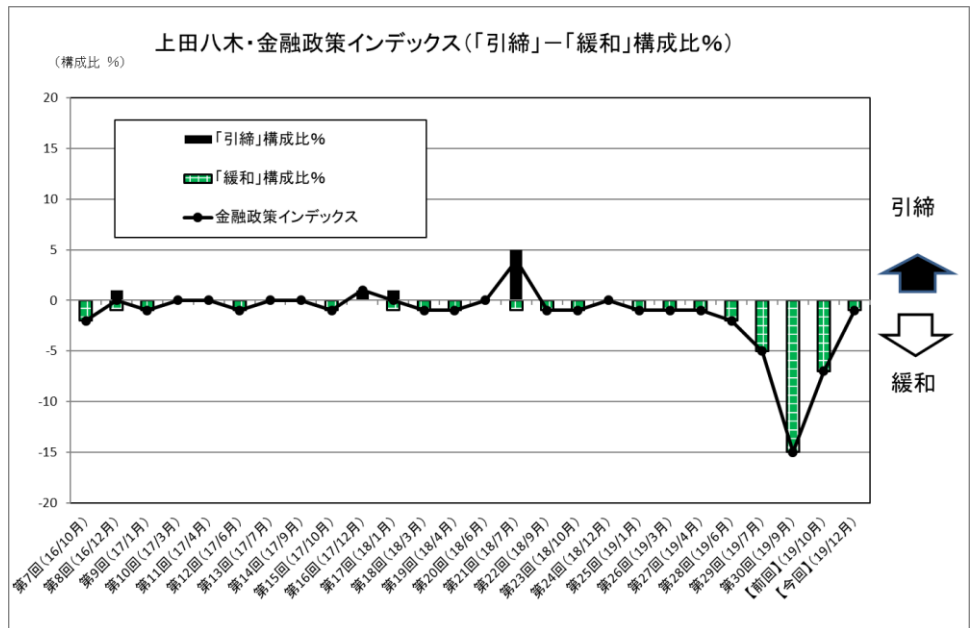
調査対象	弊社と取引のある銀行、証券会社、保険会社、事業法人などの市場取引関係者(180先)
調査内容	日本銀行の金融政策決定会合における結果予想と、3か月先の金利見通し
調査方法	2019年12月12日～16日の3営業日間、電話等によるヒアリングにより実施
回答率	87.7% (回答者数158先<Q1における回答者数>)

## 【調査結果】

(Q1) 日本銀行の次回の金融政策決定会合(12月18日～12月19日)における決定について

回答者の99%が「不変」の見方。「緩和」の見方は1%。「引締」は0%。

上田八木・金融政策インデックス(「引締」-「緩和」構成比%)は、「▲1」(前回▲7)であった。



(ご参考)

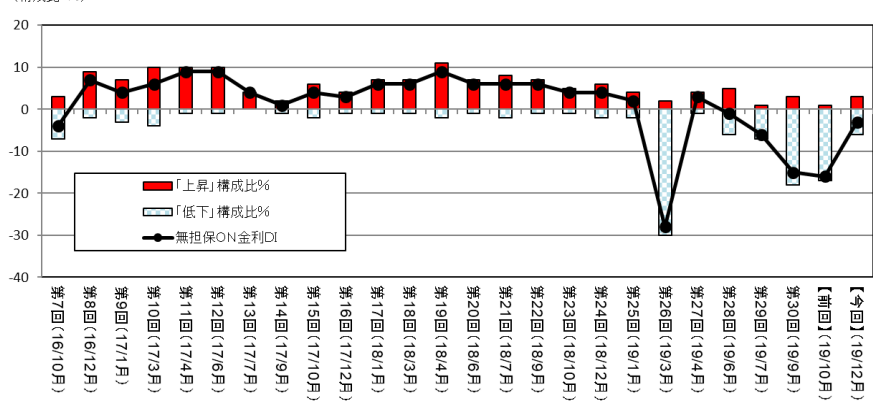
【追加質問:Q5】注)

(Q2) 3か月先の無担保コールON金利は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の91%が「不変」と予想。6%が「低下」を予想、「上昇」とみている先は3%であった。

前回との比較では、「上昇」とみる先は+2%ポイント(前回1%→今回3%)。「低下」とみる先は▲11%ポイント(前回17%→今回6%)。「不変」とみる先は+9%ポイント(前回82%→今回91%)。

3か月先の無担保コールON金利(「上昇」-「低下」構成比%)



(Q3) 3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

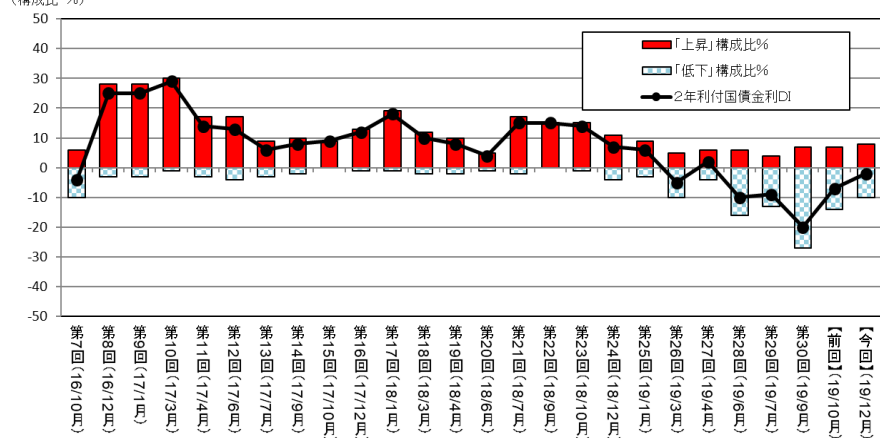
「低下」を予想する回答者10%。「上昇」を予想した先は8%、「不変」を予想した先は82%であった。

前回との比較では、「上昇」とみる先+1%ポイント(前回7%→今回8%)

「低下」とみる先は▲4%ポイント(前回14%→今回10%)。

「不変」とみる先は+3%ポイント(前回79%→今回82%)。

3か月先の「2年利付国債金利」(「上昇」-「低下」構成比%)



(Q4) 3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

「低下」を予想する回答者13%。「上昇」を予想した先は10%、「不変」を予想した先は77%であった。

前回との比較では、「上昇」とみる先は▲1%ポイント(前回11%→今回10%)。

「低下」とみる先は▲1%ポイント(前回14%→今回13%)。

「不変」とみる先は+2%ポイント(前回75%→今回77%)。

3か月先の「10年利付国債金利」(「上昇」-「低下」構成比%)

